



有明高専だより

第111号

2003.11



目次

特集 地域共同テクノセンター 1年のあゆみ..... 2・3	九州地区・全国高専体育大会..... 10・11
シリーズ 研究室訪問..... 4	英語弁論大会・ホンダエコラン・ソーラーボート..... 12
シリーズ 中学校訪問..... 5	ロボコン・プロコン..... 13
公開講座・ロボットJリーグ..... 6	表彰・資格試験合格者..... 14
夏季実習報告..... 7	シリーズ クラブ紹介..... 15
第23回体育祭..... 8・9	トピックス・編集後記..... 16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字は、所属クラスを表します。
数字は学年、英字は学科 (M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、専:専攻科) です。

「地域共同テクノセンター」

地域との交流の窓口として平成9年に「地域連携推進センター」が設置されました。その後、平成14年には「地域連携推進センター」と「総合実習センター」が統合され、新たに「地域共同テクノセンター」が組織されました。さらに、本年4月には地域との交流をより活発にするため、センターの組織替えを行い、新体制での活動を始めています。

地域共同テクノセンターとはどのような活動をしているのか、半年間の活動内容を含め紹介します。

まず、総合研究棟1階の玄関に入ってすぐ左側に地域連携推進室があります。ここがテクノセンターへの窓口です。推進室には常時センター関係者が在室し、川瀬センター長を中心に地域と本校との橋渡しができるように、また気軽に相談に来られるような雰囲気作りを目指して努力しています。

地域との
交流の
窓口



地域連携推進室

テクノセンターの活動内容は、地域企業との共同研究や技術相談などを担当している産学連携部門と地域の小・中学校などの教育機関や公民館活動などを通じて地域住民との交流を担当している民学連携部門に大別できます。

「産学連携部門の活動」

「技術分科会」の発足

産学連携部門は、地域企業・自治体と有明高専で構成されている有明広域産業技術振興会を軸として、企業との交流を図っています。

その活動の一環として、本年6月5日(木)に下記の3分野の技術分科会が発足しました。この分科会は講演会・技術交流会・勉強会などを通じて産・学・官の枠を越え、自由な意見や討論ができる場を目指しています。さらに、各分科会のメンバーの交流を

促進することにより、地域へ貢献できるような新たな枠組みをつくりだすことも目的の1つとして活動しています。



有明広域産業技術振興会総会

環境・リサイクル・エネルギー技術分科会

幹事

永脇 道郎 氏

(九州三井アルミニウム工業)

氷室 昭三 教授

(有明高専物質工学科)



環境・リサイクル・エネルギー

福祉・高齢化社会対応技術分科会

幹事

古谷 誠二 氏

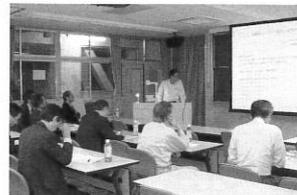
(有明機械)

新谷 肇一 教授

(有明高専建築学科)

松本 憲吾 先生

(帝京大学福岡医療技術専門学校)



福祉・高齢化社会対応

情報・メカトロニクス技術分科会

幹事

佐々木 徹 氏

(旭精機)

山下 巖 教授

(有明高専共通専門)



情報・メカトロニクス

「教職員のための学外見学会」の開催

地域企業等との交流を活発にすることを目的として、学外見学会を2回実施しました。

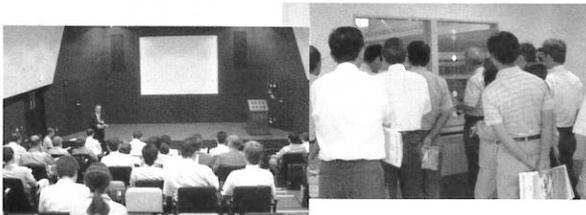
第1回は6月10日(火)に三井化学(株)大牟田工場の見学および意見交換会を実施しました。

第2回は9月24日(水)に大牟田エコタウンを見学しました。

今後は企業見学だけではなく、大牟田・荒尾地区などの歴史的な遺産をはじめ、多方面での学外見学会を開催し、地域の歴史や現状をさらに深く理解できるように努めていきたいと思えます。



三井化学(株)大牟田工場での意見交換会

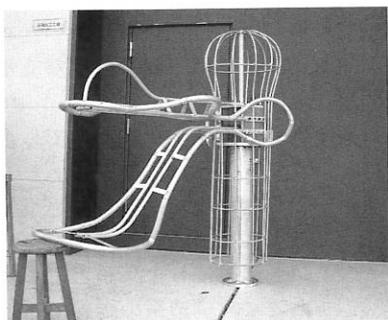


大牟田エコタウン見学会

「民学連携部門の活動」

「ロボット大蛇山製作プロジェクト」始動

JR大牟田駅に地元のシンボルである大蛇山のロボットを設置する企画が進行中です。その製作を有明高専が担当することになり、学外では「有明高専ロボット大蛇山プロジェクト」（代表：永利新一商工会議所会頭）が立ち上がり、募金により製作費を賄う業務を主に行っています。一方、学内では「ロボット大蛇山製作プロジェクト」が教職員と学生で組織されました。平成16年春の完成を目指して総合研究棟1階で製作に取り組んでいます。



骨組ができた「ロボ大蛇」

「ロボットJリーグ・公開講座」の実施

民学連携部門では、主に地域の方々と本校の教職員との交流を深めることを大きな目的としています。これまで教務主事室で担当されていたロボットJリーグと公開講座を、本センターで企画・運営することになりました。今年度は、いずれも教務主事室と共同で開催しました。それらの様子は、6ページをご覧ください。

「地域アドバイザー」委嘱

地域の方々の意見をお聞きしながら、地域の要望にできるだけ応えることができるように、大牟田地区より4名、荒尾地区より2名のアドバイザーが委嘱されました。

大牟田地区

- 池田恒志氏（大牟田市立松原中学校校長）
- 汐待律子氏（大牟田区保護司会）
- 新村耕二氏（大牟田市教育委員会社会教育主事）
- 堀辺克美氏（大牟田市教育委員会指導主事）

荒尾地区

- 鈴木洋平氏（元荒尾市民生部長）
 - 鶴田淳一氏（荒尾市少年指導センター専任指導員）
- （50音順）

夏から秋にかけて、この6名の方々と懇談をし、貴重なご意見をいただくことができました。来年度の公開講座や出前講義、ボランティア活動の立案企画に役立てたいと思います。

「佐世保高専・八代高専訪問」

有明高専で開催されている公開講座や出前講義をより良いものにするために、その活動が活発に行われている佐世保高専と八代高専を訪問しました。出迎えていただいた先生方には、公開講座や出前講義の体験談を交えて熱心にお話しいただき、大変参考になりました。地域アドバイザーの方々のご意見と合わせて、地域の皆様の要望にあった講座内容の見直し・検討をする上での貴重な助言をいただくことができました。

「これからの展望」

民学連携部門は、今年4月の組織替えに伴い新たに設置されたものです。有明高専の教職員が、個人レベルで出前講義を行ったりすることはあったものの、その窓口がはっきりしないのが現状でした。それを改め、地域住民、小・中学校などと有明高専との橋渡しの担当を民学連携部門としました。

この半年間、地域の方々のお手伝いができるように、いろいろと模索してきました。地域の方々と有明高専との間にある壁を取り払い、地域に開かれた高専として活動していきたいと思っています。そのために、来年度に向けて充実した公開講座・出前講義を企画中です。

「おわりに」

有明高専の教職員は、地域の皆様とお互いが気軽に触れ合うことができるように、今まで以上に努力しております。地域の皆様が知らない有明高専、有明高専が知らない地域の様子、その壁を取り払って地域に根ざすことのできる有明高専でありたいと願っています。まだまだ不十分ではありますが、これからいろいろ企画・運営をしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご要望などありましたら、お気軽にご連絡下さい。

地域共同テクノセンター

TEL&FAX：0944-53-8627

今回は、機械工学科の南明宏先生、建築学科の小野聡子先生の研究室を訪ね、お話を伺いました。

南明宏 研究室 (機械工学科)

研究テーマについて教えてください。

塑性加工という分野の中で、熱間鍛造用金型の寿命改善についての研究をしています。熱間鍛造というのは、真っ赤に加熱した金属材料を所要の形状に、型を用いて叩いて(鍛えて)造る加工法です。鍛冶職人がハンマー(型)などの道具で日本刀や包丁などの品物を造るようなものです。製品を数千、数万個造る間に型が劣化し、遂には寿命を迎えます。この型寿命をできる限り延長させる方法を研究しています。鍛造部品は、自動車産業や電機産業を中心とした私たちの身の回りにある製品内部に使用されています。

研究をはじめたきっかけは？

学生時代の卒業研究テーマがきっかけです。実はジャンケンが弱くて同級生に全部負けて、最後に残っていたのが今の研究テーマの基礎になっています。学生時代の研究内容を学会に投稿したものが論文賞として認められてから、本格的にこのテーマに取り組み始めました。きっかけはジャンケンでしたが、思いがけず賞まで頂くことになり、博士号もこのテーマで取得しました。

今後の研究の展開についてお聞かせ下さい。

鍛造実験は1つのデータを求めるのに数十時間の連続実験を行うことが必要であり、しかも実験パラメータも多いのでかなりの回数を実行しなければなりません。当然、全ての実験を行うことは不可能です。そこで、数値シミュレーションを用いた解析(有限要素法)を行うことを試みております。実際の実験とシミュレーション解析とを両立(相互補完)させることで最適な型寿命向上条件を求めていきたいと考えています。

学生へ何かアドバイスをお願いします。

鍛造とは、「ものを鍛えて造る」ということですが、自分の専門分野のみならず、他の様々な分野にも好奇心を持って独自の「もの造り」をして欲しいと思います。



小野聡子 研究室 (建築学科)

研究の内容についてお聞かせ下さい。

私のメインの研究は、『建築構造物の破損同定方法(建築構造物のヘルスマニタリング)』と『耐震・免震・制震構造』についてです。『建築構造物の損傷同定』とは聞きなれない言葉かもしれませんが、地震後、建築物に損傷がないかを簡便に探す方法について研究しています。現在、建築物についても人間同様、耐久年数まできちんと世話をしあげようという考えがあり、建築物に損傷がないか定期的に調べる必要があります。建築物のお医者さんみたいなものです。『耐震・免震・制震構造』については、建築物が地震に対して損傷・崩壊しないための装置を開発しています。現在は『滑り型免震支承』という装置の開発に取り組んでいます。

研究をはじめたきっかけは何だったのでしょうか？

建築学科というと建築物の設計をイメージすると思いますが、私の専門はそれとは全く違う分野(構造系)です。実は、大学で研究室を選ぶときには、計画系にしようか構造系にしようかととても迷いました。迷っているときに、構造系の講義で新しい耐震補強方法のスライドを見せられて、「これしかない!」と思い、構造系の研究室を選びました。『デザイナー』ではなく『エンジニア』の道を選んだわけです。それから『耐震・免震・制震構造に関する研究』を始め、3年前に重要性を感じて『建築構造物の損傷同定法に関する研究』も始めました。

今後の研究についてお聞かせ下さい。

それらの研究と並行して、『木質系廃棄物をリサイクルした新しい木質系建築構造用材料』と『建築構造デザイン』に関して研究しています。前者については、最終的には紙や割り箸からも木質系建築構造用材料を作りたいと考えています。後者については、現在、私が最も取り組んでみたい研究で、構造的な観点から建築物をデザインする手法を見いだせばと思っています。

学生へ一言お願いします。

一生懸命勉強して、一生懸命遊んで下さい。どちらかに偏るとよくありませんが、両方からいろいろなことが得られると私自身は思っています。



シリーズ 中学校訪問

大牟田市立松原中学校



去る10月27日に、大牟田市立松原中学校を訪ね、池田恒志校長先生にインタビューしました。

原田：松原中学校の概要、特色、教育目標、教育活動等について教えていただけませんか。

池田校長：本校は昭和22年4月に大牟田市立第二中学校としてスタートし、同年7月に現在地に移転しました。生徒数は、昭和37年の2218名をピークに減少をたどり、現在は266名です。

教育目標は「確かな学力を身につけ、心豊かでたくましく生きる生徒を育成する」です。

現在2名の指導方法改善定員をいただいて1年生と3年生に英語・数学の少人数教育を行っています。

めざす学校像として

- 1) 一人ひとりが個性を生かし、生き生きと活躍できる学校（躍動）
- 2) 協働して特色ある教育を創造する学校（創造）
- 3) 保護者・地域から信頼される開かれた学校（信頼）

原田：具体的にはどのような活動あるいは指導をなされていますか。

池田校長：学校としては、校区一体となって松原中学区連携推進委員会を中心に色々な行事に取り組んだり、保育園、小・中学校の教員が小・中学校生徒のアンケートをもとに研修会を開いたり、保護者と一体となり、人権フェスティバルを開催したりしています。

原田：人権フェスティバルではどういう事をなされているのですか。

池田校長：人権バンドのコンサート、久留米にわか、車椅子体験、本の読み聞かせや映画上映などを催しています。

生徒たちは「活動を通して心をたがやす」をスローガンに校区の保育園・幼稚園・小学校を含めた活動を行っています。体育会では中学生が園児をおんぶして帽子とりの競技を行います。この時の生徒たちは非常にやさしい表情になります。また、幼稚園の学芸会にはコーラスで参加しており、校区のクリーンアップでは生徒が小学

校に出かけていってゴミ拾いも行っています。

原田：心が暖まりますね。部活動について教えていただけませんか。

池田校長：文化系部では音楽部と美術部があります。音楽部は大牟田市夏祭りの大蛇山に参加していますし、美術部は作品を校内に展示し活躍しています。

体育系部には野球部、バスケット部、バレー部、陸上部、サッカー部、ソフトテニス部、卓球部があります。今年、筑後地区大会では男子バスケット、女子バレー、女子卓球や陸上1500mに出場しました。特に、陸上の女子砲丸投げで九州大会4位、新人大会女子3種競技で福岡県5位に入りました。

原田：頑張っておられますね。次に、生徒会活動について教えていただけませんか。

池田校長：みんなのスポーツ大会や合唱発表会などの学校行事運営で活躍しています。

3つの約束ということで

- 1) 大きな声で挨拶をしよう
- 2) 5分前行動を心がけよう
- 3) 人の話は目をみて聴こう

を掲げていますが、特に挨拶では、月に1週間挨拶運動を行っています。

原田：玄関に花がありますが、誰が育てたのでしょうか。

池田校長：学校評議員さんとクラス整美委員が育てたもので、各クラス2個のプランターを育てています。

原田：本日はお忙しい中、貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

この後、ホールに出ると、来たときには気づかなかった生徒たちの絵が掲げてあり、玄関を出ると、生徒たちの育てた、すみれ、サルビア、ペゴニアやなでしこの花がきれいに咲いていました。私は学校のほのかな温もりを感じながら、松原中学校を後にしました。

（聞き手：建築学科 原田克身）



公開講座



英語通訳基礎訓練講座
7月13日(日)・20日(日) 市民一般



楽しい折り紙建築
8月4日(月)・5日(火)
小学5・6年および中学生



ドイツ語をかじってみよう
7月28日(月)～8月1日(金) 市民成人



楽しい電子工作教室
7月31日(木)・8月1日(金) 中学生



やさしい化学と生物の実験講座
7月24日(木)・25日(金) 中学生



インターネットとセキュリティ入門
8月5日(火)～7日(木) 市民一般



夢・化学-21
～不思議な物質の世界を体験しよう～
8月26日(火)
小学5・6年および中学生



環境にやさしく家計にもやさしい電気の使い方
8月4日(月)・5日(火) 市民一般

ロボットJリーグ有明ステージ2003

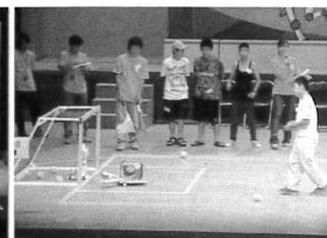


8月3日(日) 13:00より、荒尾総合文化センター大ホールにおいて、本校主催で「ロボットJリーグ有明ステージ2003」が開催されました。

大牟田・荒尾両市から参加した小・中学校31チームが、7月22日から本校で製作したサッカーロボットを操縦して、シュート部門とドリブル部門の予選を行い、成績上位の小・中学校各2チームが決勝トーナメントで優勝を争いました。

大会では、様々な工夫や装飾をこらしたマシンが、シュートやドリブルで、熱戦を繰り広げました。

優勝	大牟田中学校Bチーム(KY ³)
準優勝	羽山台小学校Aチーム(ロボキッズ)
優秀賞	八幡小チーム(八幡小)
優秀賞	勝立中Bチーム(SEED)
アイデア賞	荒尾第五中チーム(荒尾五中)
美術賞	荒尾第一小チーム(TYYMおっとと！)
ロータリークラブ賞	手鎌小Aチーム(T・R・S)
大牟田市教育委員会賞	米生中Bチーム(スターズ)
荒尾市教育委員会賞	荒尾少年少女発明クラブBチーム(波瀾万丈)



夏季実習報告

夏季実習を終えて

4M 井口 裕介

今回、僕は大牟田市の旭精機にお世話になりました。自分としては会社の売上に貢献できたと思っています。貢献した内容は、実習期間中の7日間でロータリーポンプの分解、洗浄、組立てを担当し、3台を完成させることができたことです。その3台全てが検査をクリアし、3台とも「売り」に出されました。ロータリーポンプは1台10万円ほど売られるらしいので、30万円程も売上げに貢献することができたのではないかと思います。働いた成果が目に見えることはとても嬉しいことだということがよく分かりました。他の実習先のように見ることの方が多かったり、デスクワークでCADなどをやるよりも一番意味のあることに思えます。

旭精機という会社は、大手企業なら一度使ったポンプやネジなどの部品を捨てるどころを、もう一度使える状態に洗浄して使っていくようにしています。会社の方はリサイクルのような感じだと、いつも言われていました。中古になった部品を使うことでコストを落としているとも言われていました。このような会社がどんどん増えていけば、ゴミの量が減り、日本の国にとってプラスになるのではないかと思います。

インターンシップは、自分の予想していたものよりもハイレベルで、自分が力不足だと思い知らされました。しかし、いつか自分ももっと実力を付けて、何か世界に拡がっていくような物を作り上げたいという気持ちを持ちました。そのためにも残りがわずかになってきた学生生活をより良いものにしていきたいと思います。



実習の思い出

4E 苧屋 浩司

僕は8月18日から29日まで、東京にある三菱電機ビルテクノサービス株式会社の人材開発センターに実習に行ってきました。この会社の事業内容は、ビル設備の保守・点検・トラブル処理です。主にエレベーターやエスカレーターなどです。

この実習には全国から30名の高専生が来ました。寮の同じ部屋に入ったのは苫小牧と富山と神戸から来た人たちでした。住んでいる場所は遠いけれど、すぐ仲良くなりました。2日目から本格的に研修が始まりました。2日目と3日目は、エレベーターなどの講義と体育でした。4日目から課題研究で班に分かれて、ミニチュアエレベーターを作りました。最初は全くわからなかったのですが、指導員の方々がいろいろ教えてくださいました。指導員は全員高専卒でとても仲良くなりました。2週目に入ると、みんな仲良くなって、課題研究もスムーズに作れるようになりました。

課題研究の発表も終わり、29日に反省会とお別れ会をしました。最後は指導員の方々と人事部長さんと一緒に写真を撮りました。2週間本当にあっという間でした。毎日みんなでエレベーターの回路を悩みながら配線したりしたことはまだはっきり憶えています。研修もよかったのですが、みんなで毎日、夕方サッカーをしたことがとても楽しかったです。焼肉を食べに行ったり、土日は東京を巡ったり、課題研究も含めて最高の実習でした。最後の日にみんなで撮った写真が送られてきたとき、もう会うことはないんだなあと少し悲しくなりました。





am8:50 入場行進



フィールドフラッグ



大縄跳び



第23回
体育



玉入れ



マスコット賞：電気科



pm1:20 クラブ行進



障害物競走



学科対抗リレー





開会式

応援合戦(朝)



綱引き

体育祭

9/14(日)

クラス対抗リレー



応援賞：機械科



バックボード賞：建築科



The 増殖



騎馬戦



綱引き



総合優勝：機械科

敢闘賞：建築科

表彰有明

閉会式

体育祭は皆様方の協力で無事終了いたしました。今回も実行委員会を中心に各学科努力してそれなりの結果を出したと思っております。他高専から見学があり、高い評価と感想をいただきましたが、残念なことに一部頭髪等で注意に反する学生がいました。今後なお一層努力をし、ご観覧の方々に感動を与えられるように創意工夫をして参りたいと思っておりますので、今後ともご理解とご支援をお願いいたします。(学生主事)

九州地区高専体育大会

7月18日(金)
7月20日(日)

平成15年度 第40回九州地区国立工業高等専門学校体育大会成績

〈大分高専担当〉

●陸上競技

男子100m	優勝	井形 亮 (2E) (*大会新記録10秒95)
男子200m	優勝	井形 亮 (2E) (*大会新記録21秒64)
男子4×100mリレー	3位	江崎匡志(3A)・井形 亮(2E) 的場仁志(2C)・和泉洋平(5M)
女子800m	準優勝	藤田 恵 (1C)
女子走幅跳	準優勝	黒田英里 (5C)
女子砲丸投	優勝	安田有希 (2A)
〃	準優勝	尋木さやか (5A)
〃	3位	山口 佳 (4A)
女子4×100mリレー(オープン)	2位	柿原真美(2C)・石橋絵美(3I) 尋木さやか(5A)・黒田英里(5C)

●バドミントン

男子団体戦	3位	
女子団体戦(オープン)	優勝	
男子シングルス	3位	池上慶祐 (2E)
女子シングルス	準優勝	柿木美沙 (2C)
女子ダブルス	準優勝	柿木美沙(2C)・立山貴美恵(2C)

●水泳

総合成績	準優勝	
男子100m平泳ぎ	準優勝	古田浩一 (5A)
〃	3位	井形史朗 (4I)
男子200m平泳ぎ	優勝	古田浩一 (5A)
男子100m背泳ぎ	3位	石田泰宏 (4A)
〃	5位	藤江周作 (4E)
男子200m背泳ぎ	4位	石田泰宏 (4A)
〃	5位	藤江周作 (4E)
男子100m自由形	準優勝	東房 翼 (3A)
〃	6位	西丸優樹 (4M)
男子200m自由形	準優勝	東房 翼 (3A)
〃	3位	陶山俊介 (2M)
男子400m自由形	4位	陶山俊介 (2M)
男子800m自由形	5位	古賀丈士 (3M)
〃	7位	西丸優樹 (4M)
男子200mバタフライ	3位	松尾芳彦 (2M)
〃	7位	松尾孟彦 (2M)
男子200m個人メドレー	7位	吉田春樹 (4M)
〃	8位	松尾孟彦 (2M)
男子400mリレー	3位	陶山俊介(2M)・石田泰宏(4A) 東房 翼(3A)・古田浩一(5A)
男子400mメドレーリレー	4位	石田泰宏(4A)・古田浩一(5A) 陶山俊介(2M)・東房 翼(3A)
女子100m平泳ぎ	3位	西山絵里子 (5I)

●ハンドボール

予選敗退

●ソフトテニス

男子団体戦	予選敗退	
男子ダブルス	優勝	永松 潤(5I)・尾池莊一(4C)
男子ダブルス	3位	吉田貴志(2M)・永松 翔(2E)

〈有明高専担当〉

●硬式野球

二回戦敗退

●バスケットボール

男子	3位
女子	優勝

●卓球

男子団体戦	優勝	
女子団体戦(オープン)	準優勝	
男子シングルス	優勝	古賀隆博 (5I)
女子シングルス	準優勝	古賀綾子 (4I)
〃	63位	金子絢美 (2I)

●剣道

団体戦	準優勝	
男子個人	3位	平尾 元 (4C)
女子個人	準優勝	中小路空 (1I)

〈熊本電波高専担当〉

●サッカー

準優勝

●バレーボール

男子	3位
女子	予選敗退

●テニス

男子団体戦	一回戦敗退	
女子団体戦(オープン)	3位	
女子ダブルス	準優勝	四ヶ所筋(5I)・田中見幸(5I)

●柔道

個人戦 60kg以下級 準優勝 石橋太郎 (4I)



全国高専体育大会

8月7日(木)
 8月10日(日)

平成15年度 第38回全国高等専門学校体育大会成績

〈有明高専担当会場〉

●剣道

団体戦	一回戦Dブロック2位	
男子個人	準々決勝敗退	平尾 元 (4C)
女子個人	準優勝	中小路空 (1I)

〈久留米高専担当会場〉

●卓球

男子団体戦	3位	
男子シングルス	一回戦敗退	古賀隆博 (5I)
女子シングルス	準優勝	古賀綾子 (4I)

〈熊本電波高専担当会場〉

●柔道

個人戦 60kg以下級	準々決勝敗退	石橋太郎 (4I)
-------------	--------	-----------

〈佐世保高専担当会場〉

●テニス

女子ダブルス	準々決勝敗退	四ヶ所 萌 (5I)・田中 見幸 (5I)
--------	--------	-----------------------

〈都城高専担当会場〉

●陸上競技

男子100m	準優勝	井形 亮 (2E)
男子200m	3位	井形 亮 (2E)
女子800m	8位	藤田 恵 (1C)
女子走幅跳	5位	黒田英里 (5C)
女子砲丸投	7位	安田有希 (2A)
〃	12位	尋木さやか (5A)

●バドミントン

女子シングルス	準優勝	柿木美沙 (2C)
女子ダブルス	3位	柿木美沙 (2C)・立山貴美恵 (2C)

〈鹿児島高専担当会場〉

●バスケットボール

女子	3位	
----	----	--

●サッカー

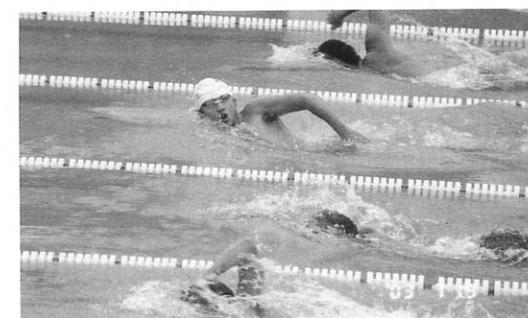
一回戦敗退

●水泳

男子100m平泳ぎ	8位	古田浩一 (5A)
〃	予選敗退	井形史朗 (4I)
男子200m平泳ぎ	〃	古田浩一 (5A)
男子100m背泳ぎ	〃	石田泰宏 (4A)
男子100m自由形	〃	東房 翼 (3A)
男子200m自由形	〃	東房 翼 (3A)
〃	〃	陶山俊介 (2M)
男子200mバタフライ	〃	松尾芳彦 (2M)

●ソフトテニス

男子ダブルス	準々決勝敗退	永松潤 (5I)・尾池 荘一 (4C)
男子ダブルス	一回戦敗退	吉田 貴志 (2M)・永松翔 (2E)



第33回 西日本地区高等専門学校弓道大会成績

期日 / 7月23日(水)・24日(木)

会場 / 宇部市弓道場

成績 / 男子団体の部 4位
 女子団体の部 予選敗退



英語弁論大会

2年4組 古川勇志郎

英語弁論大会に参加して

第36回九州地区英語弁論大会は、平成15年7月24日に鹿児島県国分市の国分第一ホテルで行われました。有明高専からは、暗唱の部に僕と、同じクラスの高木君の2人が出場しました。前日の23日は他の高専の皆さんとの親睦会に参加して盛り上がりました。

大会当日の24日は、前日の雰囲気とは全く違って緊張感にあふれていました。中学のとき経験した英語暗唱大会とはまるで別のようでした。顧問の先生の「発音と表情、笑顔を大切に」というアドバイスを頭にかかべて発表しました。発表の途中で失敗して、落ち込んでいましたが、結果は3位に入賞しました。驚きもありましたが、とても嬉しかったです。

弁論大会を経験して、僕は挑戦することはいいことなんだと思いました。今回、出場しようと思った決心があれば、入賞はおろか、こうして鹿児島まで来て他の高専の仲間と交流することもできませんでした。自分に少しでも可能性があるなら、それを信じて挑戦してみる、一生懸命にやり通す

ことが大切だと思いました。また、人と協力することの大切さも学びました。僕が入賞できたのは、高木君のアドバイスと顧問の先生の熱心な指導があったからこそだと思います。

勉強・部活動・体育祭・高専祭など、これからも何事にも挑戦していこうと思います。



ホンダエコラン

5M 日高 史博

エコランを通して

7月27日(日)熊本のHSRで、エコランが開催されました。エコランとは、HONDA主催による車の燃費を競う大会です。ガソリン1リットルで何km走ったかを競うもので、車の軽量化、風の抵抗、エンジンの性能、タイヤと路面の摩擦などを考慮して、マシンを製作する必要があります。本校の自動車工学研究部もこの大会へ毎年参加しています。

第一に完走！次に前回の記録の更新を目標にし、マシンの製作に励みました。今年は体育祭と重なり、製作時間がうまく取れず、準備万端という状態で大会に望むことはできませんでした。しかしながら、5年生を中心に自分達に今できる事は何か、何をすべきかを考えながら製作しました。

結果は無事完走し、記録は96km/ℓでした。この数値は前回の2/3以下ですが、完走できたこと、部員一同で製作した物が形となったことが何よりも自分が得たかったものではないかと思いました。

後輩達はすでに来年の大会に向けて準備を進めています。来年はみんなを驚かせるような記録を出してくれることを期待しています。



ソーラーボート

5M 吉川 耕平

ソーラーボート大会を終えて

8月2日(土)、3日(日)の両日に福岡県柳川市の堀割で、第8回柳川ソーラーボート大会が開催されました。私たちソーラーボートチームは、学生の部にエントリーしました。参加7年目の今年は、学生の部優勝という目標を立てて、本科生を中心としたチームと専攻科生を中心とした2チームを編成し、2艇での参加を目指して4月からボートの製作を行ないました。

予選レースでは、本科チームは故障続きだったギヤをだましながらの走行となり、なんとか完走はできましたが、惜しくも4秒差で予選落ちし、残念な結果となりました。

専攻科チームは初出場ながらも予選を突破し、周回レースの決勝で学生の部8位と大健闘しました。また、本科チームは、毎年着実に順位が上がっていることが評価され、実行委員会より特別表彰として努力賞を頂きました。

今年は、レースの厳しさや喜びなどメンバー全員が様々な経験をすることができた大会でした。今年の経験を生かして、来年こそは優勝できるよう更に努力していきたいと思っています。



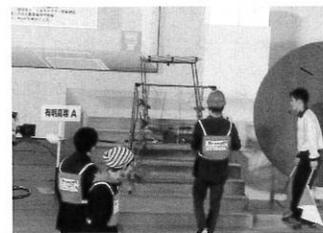
ロボットコンテスト

「まちっと遠くまで」

5M 江口 剛

この「まちっと遠くまで」というマシン名は、九州の方言で「もう少し遠くまでオブジェを飛ばしたい」という願いを込めて名付けられました。ボールに想いを込めて操縦したマシンは、全国大会出場という大きな望みを叶えてくれました。この全国大会への道は険しく厳しいものでした。マシンを作っていく上で色々な問題にいつも道を塞がれながらも、メンバー一体となってそれを解決しようと努力してきました。また、それでも問題解決ができない時は、教官や技官の方々に良いアドバイスをしていただき、少しずつ先へ先へと進むことができました。今年は特にメンバーが多く、いつも以上に楽しくマシン製作を行い、自分自身も楽しむことができました。今回のように良いマシンができた理由のひとつとしてメンバー全員の仲の良さがあると思います。実際1～5年生の間には壁が無く、柔軟な意見が飛び交い、下級生に教えられる点もいくつかありました。

今回、準優勝と技術賞を手にし、全国大会への切符も手に入れた事はとてもすごい事であり、良い結果を残せて良かったと思います。全国大会では、シーサーと共に大きな舞台で思いっきり動き回り、更なる挑戦をしたいと思っています。



ロボコンを通じて

5M 中山 真悟

ロボコンは今年16回目を迎える全国規模の大会で、有明高専も例年通り参加しました。今年は素晴らしい成績で、地区大会では2台のマシンがベスト4に残り、準優勝、3位、技術賞、全国出場と過去にないような成績でした。しかし、この素晴らしい結果は1年から5年、3学科にわたる学生が一生懸命協力し、励まし合い頑張ったからこそ得られた結果だと思っています。

ロボコンは本当に過酷なイベントです。毎日学校が終わった後も残り、徹夜も数多くやります。体調も時には崩れます。それでもロボットの製作はしなければいけません。私はロボコンを5年間やってきました。遊ぶ時間や勉強する時間が、かなりロボコンに費やされたかもしれません。しかし私はロボコンをやって本当に良かったと思います。それは、これまでに先輩や友達、後輩からも本当にたくさんのことを学ばせていただいたからです。勉強や遊ぶ時間は少なかったのですが、自分に残った経験、思い出は大変貴重なものだったと感じています。

これから後輩がこの有明高専のロボコンを続けていくわけですが、これまでやってきた人、これからやろうとしている人も、そのすべての人が「ロボコンは楽しいものなんだ」と思えるような時間を過ごしてくれればいいなと思います。

プログラミングコンテスト

4 | 野田 和徳

10月11、12日八王子で行われた「第14回プログラミングコンテスト」の競技部門「達人に隙間なし」本選に出場しました。前期末試験あけからの追い込みに加え、コンテスト当日まで改良を重ねた成果も実り、準決勝まで進むことができました。今回の競技では、立体図形の展開図のパターンを早く見つけ出すことと、展開図をうまく升目に敷き詰めることが勝敗の決め手となり、最後の最後まで大きな壁となりました。限られた時間の中で、最高のものとは言えませんが、問題を解く人間の考えを少しでも形にできたと思っています。また、他の高専のプログラムやプレゼンテーションを見ることができ、新しい見方や考え方を知り、勉強になりました。この経験を活かし、今後のプログラム開発や次のプログ

ラミングコンテストに繋がっていきたいと思います。プロコンのページURL <http://www.procon.gr.jp> (興味のある人はアクセスしてみてください)



専攻科一期生 福澤祥子君 (北岡研究室) 日本建築学会優秀卒業論文賞受賞

研究テーマは「地域公共図書館における開架フロアのゾーニング手法に関する研究 ポピュラーライブラリーエリアを核としたActiveゾーンの可能性と有効性」で、内容は図書館建築を活発なActiveゾーンと静かに読書できるQuietゾーンに分けて計画しようという新しい提案を行ったものである。他の受賞者は東大生や横国大生など全員大学生であるが、研究の独創性はもとより、その充実度と完成度の高さが評価された。もちろんこの受賞は福澤君の優秀さと努力の賜であるが、一方で2～3年かけて研究を深化できるという専攻科のメリットが発揮されたものといえる。

(北岡記)



専攻科二期生 前田圭子、奥園加奈子、西田朋美君 日本建築学会主催の設計競技でタジマ奨励賞受賞

建築学専攻では特別設計演習において毎年標記設計競技(大学院生・大学生を対象)に応募しているが、3君は今年の課題「みち」において3回ほどアドバイスを受けた後には自分達で意欲的に取り組み、目標とした九州支部で入選したばかりか、全国審査で見事タジマ奨励賞を受賞した(ちなみに他の受賞者は東京理科大、大阪大学の大学院生など)。内容はこれまでの固定的な道に対し、生活に合わせた建物の増殖や改変の中で新しい「みち」ができたりあるいはなくなったりする、地域の生活に合わせ変化する「みち」を提案したものである。今回のことで有明高専生・専攻

科生が優秀であること、建築学科の設計教育のレベルが高いことが確認できたと思う。是非後輩諸君も臆することなく励みにして欲しい。(北岡記)



資格試験合格者

■画像情報技能検定

CG検定

3 級 3I 熊川小百合
境 健司
福吉 泰樹
2 級 3I 猿渡 一樹

画像処理検定

3 級 3I 福吉 泰樹

マルチメディア検定

2 級 3I 猿渡 一樹

■情報処理活用能力検定

3 級 1I 西田 智
2 級 3I 西 俊哉

■英語検定

準2級 4E 大坪俊比古
西田 剛
平川 皓介
本山 護
第3級 4E 猿渡 光央

■基本情報処理技術者

4E 西田 剛

■第一種電気工事士

4E 小川 博久 猿渡 光央

■第二種電気工事士

4E 本山 護
5E 城戸 歆一

■乙種危険物取扱者(各類)

4E 小川 博久 猿渡 光央
本山 護

■建築製図技術認定

3A 青山 晃士 有吉 利礼
石塚 嘉人 岩永 千春
有働未奈子 江崎 匡志
江崎 千春 小松 弘幸
櫻木 里衣 重田真由美
柴田 尚平 堤 喜恵
中島 宏典 中原 美紀
野口 裕子 平野 徹
宮崎 一喜 吉開 暢之

■第54回 工業英検

3 級 3C 中島 梨江
4 級 2-1 宮本 裕史
2-2 大田黒淳美
2-3 廣松幸太郎
森 陽美
3E 茅島 光司
4C 岡部 広奈
干場 清治
山下 ゆり

■平成15年度 第1回 英語検定 準2級

1C 田中 愛里
永田 梢
2-2 野中 向洋
2-3 浦島 真人
3M 平岡 巳知
3C 平岡 巳枝
宮下 加奈
元田 晶子
3A 重田真由美
田中 絵里
野口 裕子
4A 伊藤 志真

シリーズ クラブ紹介

バスケットボール部

こんにちは。バスケットボール部です。

まず、男子部の紹介をしたいと思います。男子バスケットボール部は、元気すぎる1年生9名、個性が強くクセのある2年生7名、まだまだ落ち着きのない3年生6名、そして4年生2名とまだまだ初々しいマネージャー2名の計26名で活動しています。4年生が2名なので、いろいろと大変ですが、後輩も協力してくれるので、とても助かっています。私たちのチームは身長の高い選手がいないので、その分足を使っていかにそのハンデを補うかが今の課題です。最近は練習中の良いプレーや悪いプレーに対して、先輩後輩関係なくお互いに指摘し合う姿も見られ、いい雰囲気の中、向上心を持って練習に励んでいます。

次に、女子部について紹介したいと思います。私たち女子部は、プレーヤー14名、マネージャー1名の計15名で頑張っています。皆仲良く、上下関係もほとんどありません。そのため、コミュニケーションもバッチリです！練習は男子部とほぼ合同で行いますが、月・水・金は、体力づくりのために外周を走ったり、外で筋トレをしたりしています。しかし、試合が近くなると毎日体育館で練習を行っています。高専大会では、全国大会に毎年出場しており、まずまずの成績を残しています。来年の高専大会では、全国制覇できるようにこれからの練習を頑張っていきたいと思っています。

男女とも仁田原先生と松尾先生の指導のもと、毎日の練習を行っています。来年の高専大会では、男女とも全国大会に出場できるよう努力していきますので、応援よろしくお願いします。

(4E 大坪 俊比古 4I 堤 真知子)



ソフトテニス部

こんにちは。ソフトテニス部です。

私たちソフトテニス部は酒井先生・原田先生のもと、男子28名、女子7名、マネージャー1名の部員で毎日活動しています。さて、ソフトテニスとはどんな競技でしょうか？ソフトテニスは（硬式）テニスと異なり、ゴム製の白く柔らかいボールを使う（軟式）テニスで、ダブルスで競技を行います。また、このソフトテニス競技は日本が発祥の地で、現在、世界各国に普及しつつあります。

ここ数年、部員にも恵まれ、夏に行われた九州地区高専大会では、スーパールーキーの加入により、個人戦では2ペアがそれぞれ、優勝と3位に入賞し、全国大会への切符を手に入れました。また、全国大会では表彰台まであと一步のベスト8までいきました。しかし、団体戦ではこれまでの4年間、あと一步のところまで涙をのんできました。この悔しさは自分一人だけでなく、他の部員も同じだったと思います。この悔しさを糧に、来年の夏に向けて頑張っていきたいと思っています。これから冬になり、日が沈むのが早くなってボールを使った練習があまりできなくなるので、皆で集中して練習を行い、課題の基礎体力づくりにも力を入れていくつもりです。

皆さん、ソフトテニスに興味のある人（初心者も大歓迎！）は、是非一度、テニスコートまで足を運んで下さい。もちろん、部員も募集中です。最後になりましたが、これからも部員一同頑張りますので、応援よろしく願います。

(4I 宮田 俊介)



トピックス

防火避難訓練

10月21日(火)、大牟田市消防署明治出張所の方のご指導により、防火避難訓練が実施されました。

火災発生の緊急放送に応じて、グラウンドへの避難・人員確認の訓練の後、消火器を実際に操作しての消火訓練を行いました。

さらに、消防車に搭載されている救助資器材取り扱いの展示訓練を見学しました。



第9回 高専シンポジウム開催のご案内



既にご存じのことと思いますが、有明高専の協力を得て、来る平成16年1月17日(土)本校にて第9回高専シンポジウムが開催されることとなりました。

全国から30高専以上が参加予定で、本科・専攻科学生、教職員等、約300名の参加、180件以上の研究発表が予定されています。

発表申込は既に締切られましたが、参加はまだ受付けていますので、本校の教職員、学生諸君又卒業生各位のシンポジウム及び懇親会への参加をお願い申し上げます。具体的には下記の本シンポジウムのページを参照して下さい。不明の点につきましては下記にお問い合わせ下さい。

第9回高専シンポジウム実行委員長 吉武 紀道

記

期 日：平成16年1月17日(土) 9時より

会 場：有明高専

参加登録申込締切：平成15年11月28日(金)

懇 親 会：平成16年1月17日(土) 発表終了後(ホテル・ヴェルデ)

参加申込方法：下記のURLにアクセスしていただき、必要事項を御記入後送信して下さい。

U R L：http://www.ce.ariake-nct.ac.jp/kousensympo/index.html

問 合 先：TEL/FAX 0944-53-8868 E-mail：sympo@ce.ariake-nct.ac.jp

編集後記

地域共同テクノセンターが新しく生まれ変わり、有明高専が地元の企業、学校、公民館などと連携し、地域と共に様々な活動をするために汗をかいている。この号で特集してその一端を紹介した。多くの優秀な本校卒業生・修了生が地元を根を下ろし、地域と有明高専の活性化・発展に貢献すると共に、将来、有明地域をリードする世界的企業群の核として活躍する日を夢見ている。

今年は日照不足でお米が不作のようだ。丹精込めて育てても天候が不順であれば努力が報われないことも多いのが農業であろう。台風一つで梨の収穫が台無しになったこともある。これに対し、学生諸君の勉強は努力がそのまま報われる世界である。年度末も迫ってきている。努力して学年成績でその成果を得ようではないか。台風で台無しにされる心配はないのだから。

有明高専だより 第111号

平成15年11月20日

編集・有明高専広報委員会

発行・有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861(学生課)

http://www.ariake-nct.ac.jp/